

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査委員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（100点満点）とする。最終的に各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査委員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査委員の1名以上が内容点の評価項目のうち評価点2点未満とした場合または審査点が50点未満の場合は失格とする。

評価項目		評価の視点	評価点	係数	配点 (評価点×係数)
ア 業務の理解度	①	・仕様書に記載の内容について、すべて提案されているか。 ・本業務に対する考え方が具体的かつ適切か。	5点	2	10点
イ 業務推進体制	②	・人員体制配置予定者の専門性は十分か。 ・実施体制及び役割分担が具体的に明示され、本業務を円滑に遂行できるものであるか。 ・会社規模、財務状況、想定スケジュール、業務実績などから業務の執行に支障はないか。	5点	3	15点
ウ 提案内容	③	・冊子の表現や構成が、中学生にとって理解しやすい提案となっているか。	5点	4	20点
	④	・中学生の学習意欲を高めるだけでなく、将来的に明るい未来を持てるような構成、工夫が提案されているか。	5点	4	20点
	⑤	・学習ツールについて、冊子の内容と連動し学びを深めるための構成・工夫が提案されているか。	5点	2	10点
	⑥	・学校での活用を前提に、教員等が使いやすい提案内容となっているか。	5点	2	10点
エ 積極性	⑦	・仕様書に記載されていない事項であって、本業務を達成するために有効と認められる追加提案があるか。	5点	2	10点
オ 価格点	⑧	・総事業費は安価であるか。 5点×応募者中の最低価格／応募者の提案価格 ※小数点以下切り捨て	5点	1	5点
合計					100点

評価の基準

各評価項目の評価点は、5点満点（最高得点5点、最低得点0点）とする。

- ・特に優れている (5点)
- ・優れている (4点)
- ・普通（基準点） (3点)
- ・やや劣る (2点)
- ・劣る (1点)
- ・要求水準を満たしていない (0点)